

「コータ君、キョーサイ組合に入らんね？」

引越して来てすぐ、役場勤めの友人から誘われました。最初は保険の勧誘か何かだと思い「何ねそれ？」と慎重に返事。それでなくともムラには、青壮年部や営農組合、消防団に隣組など、多くの組織があり、さらにメンバーもだいたい同じなので、新入りにはよくわかりません。

そこで「キョーサイでどう書くの？」と質問すると、友人はにっこり笑って「強い妻タイ！」強妻組合。

きょうの 発言

最近「強」が「恐」になりよるもんね」。私も即入りしました。確かに、わがムラは女性が元氣。夏祭りや運動会など、中心となって家庭や地域を元氣にしています。

留学していたドイツも女性が元氣。環境問題に対する取り組みも数多くあります。主婦が起こしたレジ袋

キョーサイ組合

をもらわない運動は、今では常識となっています。

「買いい物は世界を変える」という言葉があります。消費者が高い意識を持つてモノやサービスを購入することで、生産者や企業を変えていくこと。例えば、同じ洗剤でも環境負荷の少ないものを選べば、生活排水による水質汚染はかなり改善されます。

農産物にも、おいしさや新鮮さに加え、安全性を求める声が大きくなりました。流通業界は、安全性の

高い商品の確保や販売の仕組み作りには必死です。生産者も、化学物質をなるべく使わずに安定供給できるように技術を磨いています。私たちの「おあしす米生産組合」でも無農薬で、収量を維持するのに試行錯誤を繰り返したそうです。

家庭の要望で、生産現場や流通が変わります。日々の買いい物はやはり女性が主役。食べ物や農業、環境にもっと関心を持ってもらって、家庭を、地域をよくしてもらいたいと思います。